

3

認知症の程度と生活機能障害（生活のしづらさ）について

認知症は、徐々に認知機能と生活機能が低下する病気です。

一般に認知症が進行するにつれて、生活機能も低下していきます。生活機能が低下すると、何らかの支援が必要となります。

認知症の程度と生活機能の目安・生活上のポイントとなる目安を表にしています。

認知症の程度と進行状況

(右にいくほど発症から時間が経過し、進行している状態です)

軽度

中等度

重度

◆ 認知症の疑いがあるが日常生活は自立
(予備群・境界状態)

もの忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成などを含め、日常生活は自立している

◆ 認知症の症状があるが日常生活は自立

金銭管理や買い物、書類作成などにミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している

◆ 誰かの見守りがあれば日常生活は自立

服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい

◆ 日常生活に手助け・介護が必要

食事、トイレ、着替えや入浴などが一人では難しい

◆ 常に介護が必要

ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい

< 生活上のポイント > ※

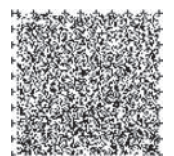
- 健康管理・介護予防・仲間づくりに取り組みましょう
- 規則正しい生活を送り、見守ってくれる人を増やしましょう
- かかりつけ医や専門医を活用しましょう
- 介護保険サービスを検討しましょう

< 生活上のポイント > ※

- 介護保険サービスを活用しましょう(身体的ケア・生活のケア・住まいに関するケアなど)
- 万が一のときに備え、見守りの支援を活用しましょう
- お金の管理や契約などについて考えましょう

< 生活上のポイント > ※

- 日常生活全般の支援を受けましょう
- 住まいの選択を考えましょう
- 生活上の必要な契約・お金の管理に関する支援を受けましょう



※ <生活上のポイント>の具体的なサービス(支援)は、12・13ページの早わかり表をご覧ください。